

<これは千夜一夜物語の中のお話ですが、昔のアラビア語で書かれたものです。最近はこちらの話はありません。>

ある人が、王が支配する国においてこういいました。「なぞなぞがある。もし、あなたが解くことができたなら私の首はあなたのもの。もし、できなかつたら私はあなたを殺して王になる。」これは昔王たちがよく行っていたゲームでした。パンダ（人名）は同意し、何を言ってくるのかと思っていました。彼も同意しました。するとその男は立ってサインを見せました。このようにサインを見せました。このように。このようにサインを見せた後、彼は鶏の羽を取りだしました。王はその意味がなんなのかわかりませんでした。「それがなんの意味かもわからないし、なんなのか全くわからない。」と言いました。男は言いました。「では、お互い書面に書こう。なぞ解きをするのにどれくらいの日が必要だ？」男は王が望むだけの日数を与え、その日がきて、もし王がその意味を知らなかった場合、王は殺される。」と書面に書き同意しました。さて、導師（もしくはイマーム・ジュマという人名？）、親類、酋長、家族、化学者など多くの人々が来ましたが、彼らはああでもない、こうでもないといい、誰もがなぞ解きをできませんでした。王はこのなぞ解きについて知っていて、それを解くことができる人を探させるため、町中に人を送りました。王はこうなつてはもう私は死ぬだけだと喜びました。すると、兵たちが歩き回っている時、人々の中にある一人の男を見つけました。「王は頭がおかしいよ。私はこのなぞ解き全部をやってみることができる。」彼はバンギー（マリファナ）を吸っていて、すっかり効いていました。「私はそれら全てをやつてのける。王に言うがよい、まずは私に食べるものをくれと。お腹一杯になったらこれらのなぞ解きをやってみせる。」兵は彼を連れて行きました。彼は王のところまで連れていかれました。「彼が答えられると言っています。」「なぞ解きができるのか？」男は言いました。「はい。」「もし、お前が答えられることができなかつたら、私はまずお前を殺して、それから自害する。」男は言いました。「はい。王様。ご心配なく。なぞなぞは一体どんなものですか。」「では、男がここにやつてきてお前に質問をする。」「まず、食べるものをください。」男は中に連れていかれ、王から豪華な食事を用意されました。そして、お腹いっぱいになりました。さて、食事の準備がなされているとき、ゆで卵があり、男はそれを一つとってポケットに入れました。バンギーを吸ったせいでかれは卵を一つとってポケットに入れました。食べた後、さあ行こうと言いました。なぞ解きの場所につくと、なぞなぞを出した当人が呼ばれました。「では、あなたのなぞなぞを出してください。」その人はこのように見せ、かれがそう見せた時、バンギー吸いは立ちあがりました。「全て私はできる。」彼は言いました。「では、次のものを。」なぞなぞを出す人は彼に見せました。「もう少しで私は倒れそうだ。」「彼は私を求めている。（不明確）」なぞなぞを出す人はポケットに手を入れ鶏の羽を取りだしました。彼が鶏の羽を取りだした後、バンギー吸いはポケットに手を入れ、卵を取りだし彼に見せました。「なんと。」彼は全てなぞ解きをしました。「では。」バンギー吸いはその場から出され中に連れて行かれ、なぞ時をした男は、「では、お前に聞くが一体これは何を意味したのだ。」と聞かれました。男は言いました。「あなたが連れてきた人はとても学識のある人です。彼はこのように私に示しました。つまり神は空を創造したと言いました。彼は、神は地上も創造したと言いました。そこで私は彼に神は唯一物だと言いました。彼は私に二番目の奴隷だと言いました。私は彼に言いました「死んでしまったものは命あるものから出るものだ、つまり、鶏の羽根は鶏から出たものでこれは屍だと言いました。羽根は鶏からの屍だと。そして彼は言いました。鶏は卵、つまり命あるものから生まれると言いました。とういうわけで彼はなぞ解きをしま

した。彼はなぞ解きをやったのけたのです。」「バンギー吸い、こちらに来い。どうやってなぞ解きできたのだ。」男は言いました。「彼はあそこに座って私に言いました。お前を叩いて飛びあがらせると。そこで私は言いました。私は夕方お前を叩くと。」王は言いました。「なんと。では、指を見せられた時はどうだ。」「彼は私に私の眼を一つ取ると言いました。そこで私はお前の眼を二つとも取ると言いました。そして、彼は私に彼は鶏を食べたと言い、私は彼に、私は卵を食べたと言いました。さて、バンギー吸いのなぞ解きは学者のなぞ解きとは全くずれていたのですが、結果的に同じ答えにたどりつきました。王は殺されずにすみ、なぞなぞを出した人は降参し殺されました。王は「このバンギー吸いは私のアシスタントにしよう、私に他のことについても教授させよう。そしてバンギーはもうやめるのだ。これからお前はここにいなさい。」と言いました。この話は王を殺害の危機から救ったバンギー吸いのお話です。